

遠野市土淵町山口集落ながめづくりガイドライン

おらほのながめづくりの心得

平成24年3月4日

山口自治会

遠野市土淵町山口集落ながめづくり協定

わたくしたちは、先人から受け継いできた自然豊かで、心地良い農村景観に誇りと愛着を持ち、地域に息づく文化や民俗、習慣を自ら守り伝え、さらに発展させることにより、暮らしの質を高め、“元気な山口集落”をつくっていくことを目的として、ここに協定を定める。

○協定書の基本事項

目的	この協定は、遠野市土淵町山口集落において、住民が民話の息づく自然豊かで心地良い山口集落の農村景観に誇りと愛着を持ち、これを住民の理解と協力のもと自ら守り育てることを目的とする。
名称	この協定の名称は、遠野市土淵町山口集落ながめづくり協定とする。
協定の区域	この協定の対象とする区域は、遠野市土淵町山口集落の区域とする。
協定の締結	この協定は、遠野市と山口自治会により締結する。
協定の内容の変更及び廃止	協定の変更又は廃止は、遠野市と山口自治会の協議のうえ、山口自治会の総会の決議によるものとする。
協定の有効期間	この協定の有効期間は、無期限とする。
協定の締結年月日	平成 24 年 4 月 5 日

遠野市民憲章

(平成 18 年 9 月 6 日 制定)

わたくしたちは、悠久の時を越えて継承してきたうるわしい郷土と、伝統ある文化に誇りを持ち、このすばらしい宝玉(たから)を、さらに「永遠の日本(にほん)のふるさと遠野」として、創造・発展させるため、ここに、この憲章をさだめます。

わたくしたちは

- 1 豊かな自然を愛し、平和で住みよいまちをつくります。
- 1 心と体をきたえ、温かい家庭と明るいまちをつくります。
- 1 創意をあつめ、産業と交流の元気なまちをつくります。
- 1 恵まれた文化を活かし、夢を育む学びのまちをつくります。
- 1 共に考え支えあって、未来を望む協働のまちをつくります。

1 心地良い自然景観や 受け継がれてきた農地を これからも美しく保っていこう

山口集落を囲む奥山や里山の林、草地は、生活や生業の場として利用されてきた。また、山口集落の景観は自然の風景を基調としており『遠野物語』が生まれた背景には、自然との対話がある。

この風景が損なわれないよう、地域の宝として自然景観や農村景観の維持管理に努めよう。

おらほのながめづくりの心得 1 美しい自然景観および農地の保全

○ながめの確保

- ・街道からの六角牛山へのながめ確保に努める。
- ・デンデラ野とダンノハナなど高台からのながめの確保に努める。

○農地・林・草地の保全

- ・農地としての利用をできるだけ維持していく。
- ・林や草地を適正に手入れし、活用を目指す。

○川や水路の保全

- ・川や水路の泥あげや草刈りなど適正な維持管理に努める。

○沿道の緑化

- ・沿道の草花の手入れに努める。
- ・周囲に調和する、地域に根ざした在来種を含めた草花の栽培を心がける。

■山口集落の全景



六角牛山を背景にした山口集落



高台から見下ろした山口集落

■山口集落のみどり



管理の行き届いた水田



手入れされた沿道の草花

2 木や草花など緑に囲まれ ゆったりとした屋敷構えを 継承していこう

山口集落の屋敷は、ウッコ（イチイ）の生垣を外周に回し、道路に対して前庭を挟んで主屋や納屋、畜舎などの建物を構えている。屋敷内には、木や草花など彩りある庭、菜畑が設けられている。

屋敷全体にゆったりとした空間の広がりを感じられ、住み心地の良い屋敷構えをこれからも継承していこう。

おらほのながめづくりの心得 2 屋敷内の緑化

…「屋敷構え」とは、庭、菜畑、敷地内の建物等の配置など

○建物や工作物等の配置

・新たな建物の建築の際には、主屋や附属屋など屋敷内の建物のまとまりを重視した配置とする。

→ 建物については「3」で詳しく記載

・車庫、門や塀、擁壁等の工作物を設ける場合には、周囲の植栽や建物とのバランス、周辺の自然景観との調和に配慮する。

→ 工作物については「4」で詳しく記載

・人目につきやすい場所にあるエアコンの室外機やプロパンガスなど建物に附属する施設機器等は、目立たないように工夫する。

○庭の利用

・屋敷と道路の境界部には、ウッコの生垣や草花を植え、緑化に努める。

・屋敷内における庭木、草花の日常的な手入れに努める。

・屋敷内には植栽のスペースを設け、全面的なコンクリートやアスファルト舗装は避ける。

■山口集落の屋敷構え



境界部の生垣や屋敷林



庭木にもイチイが多く見られる



庭の花



屋敷まわりの畑

3 木や土のぬくもりを感じる 伝統的な建築様式を 活かしていこう

山口集落の住宅は、茅葺きの曲り家や直屋を基にした木造の平屋、2階建てが多い。屋根の形は、伝統的な和風建築の入母屋屋根や洋風近代化の影響を受けたカブト屋根などの流れをくみ入れている。附属屋の屋根は切り妻が一般的だが、洋風畜舎に見られるマンサード屋根は、山口集落のアクセントになっている。

建物の壁は、真壁（土壁の一部に柱が表れた壁）や下見板張りなど、木や土が材料になっている。

この木や土のぬくもりを感じる建築様式をこれからも活かしていこう。

おらほのながめづくりの心得 3 伝統的な建築様式の尊重

…「建築」とは、主屋、納屋、蔵、物置、畜舎など

○建物の形

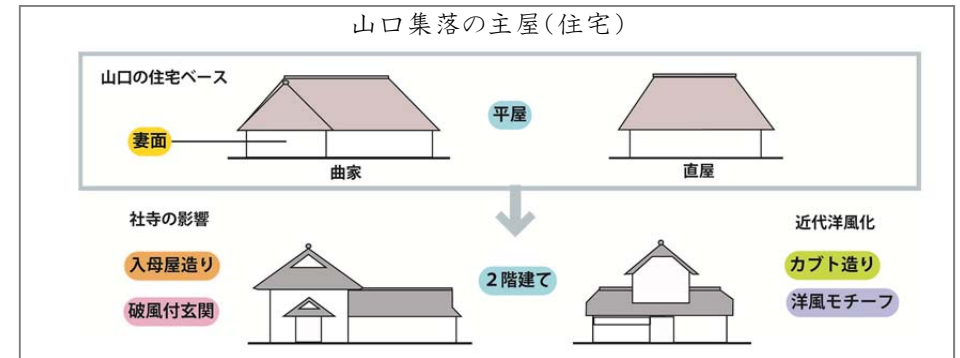
- ・屋根の形は、基本的に勾配屋根とし、片流れや陸屋根は避ける。主屋の屋根は寄せ棟、入母屋、切妻、附属屋は切り妻とする。
- ・主屋は、平屋もしくは二階を基本とする。ただし、できるだけ総二階は避ける。

○建物の色彩と素材

- ・屋根の素材は、日本瓦またはカラー鉄板を基本とする。色彩は、日本瓦の場合には黒系、カラー鉄板の場合には落ち着いた低彩度色を基調とする。
- ・建物の外壁は、塗り壁および板壁調の自然素材色を基調とする。

○建物の構造

- ・主屋は木造を基本とする。附属屋についても木造を基本とし、伝統的な様式の建物と調和させる。
- ・主屋や附属屋など建物の高さは、周辺景観との調和や、街道や高台からのながめの確保に配慮する。



～山口集落ワークショップの結果～

ふさわしい ふさわしくない

瓦屋根の色

カラートタン屋根の色

壁の色

建物の屋根および形

※上記は代表的な例

原則、既存の色・既存の形状はふさわしいと判断された。一方、彩度の高い色や山口集落およびその周辺地区で見られない様式は、ふさわしくないと判断される傾向にあった。

4 工作物等を周辺の自然や建物になじませよう

山口集落の景観は農と自然の風景を基調としている。その景観が工作物等によって損なわれないように、工作物等は高さや大きさ、色を控えめにし、周辺の自然や建物になじむよう工夫しよう。

おらほのながめづくりの心得 4 工作物等の周囲の景観との調和

…「工作物等」とは、車庫、門や塀、擁壁、煙突、看板、自動販売機、車庫、外灯、電柱など

○工作物等の色や素材

- ・工作物等は、明るさを抑えた茶色やグレー、黒などの低明度色を基調とし、反射性の素材など景観を損ねる素材の使用は、極力避ける。
- ・工作物等は、耐久性を考え、定期的な維持管理に努める。

○工作物等の大きさ・形・高さ

- ・工作物等の大きさや形、高さは、山口集落の自然景観や周辺の建物と調和するものとする。

○工作物等の配置

- ・街道や農地から「六角牛山への眺望」を遮らないように配置する。
- ・自動販売機や看板などは必要最低限に抑える。
- ・工作物は樹木と組み合わせて設置したり、周囲を緑化したりして、自然になじませる。
- ・擁壁はなるべく設けない。やむを得ない場合は、自然石積み、または緑化する。

○照明の明るさ

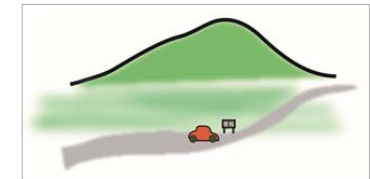
- ・派手な照明看板の設置は避ける。
- ・イルミネーション等のはなやかさを演出する照明は期間限定とする。
- ・自動販売機の照明は、明るすぎないようにする。

＜周辺自然に配慮した工作物等の例＞

■看板



派手な色(高彩度・高明度)で高く、大きい看板



茶色(自然景観になじみ色)で低く、小さい看板にする。

■自動販売機

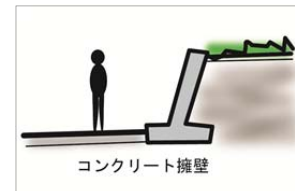


一般的な自動販売機
派手な色が目立ちすぎる

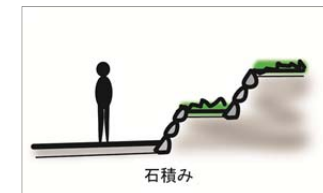


自動販売機は建物の軒下に置いたり、周囲の景観に配慮した色彩にしたりする

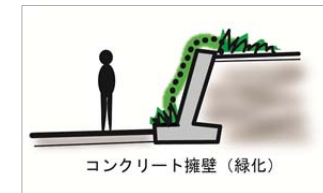
■擁壁



一般的なコンクリートの擁壁



石積み



コンクリート擁壁(緑化)

擁壁には昔ながらの石積みを採用したり、コンクリートの擁壁の上を緑化したりする

5 山口集落の歴史や文化・伝統を守り語り継いでいこう

山口集落の中には『遠野物語』の原風景が、今も息づいている。先人たちが残してきた石碑や古墓、古木が大切に守られている。郷土芸能の山口さんさ踊りや、小正月、盆の風習など、四季折々の伝統行事・生活習慣も受け継がれている。

山口集落の歴史や文化・伝統を次世代にも伝えていこう。

おらほのながめづくりの心得5 歴史・文化資源の保存・活用

- 石碑・鳥居・お堂の管理
 - ・地域の歴史や信仰を物語る石碑や古墓、鳥居などの適切な維持に努める。
 - ・鳥居や石碑のゆかりや設置場所の関係性を理解し、これらの移動を極力避ける。
- 古木や名木の保全
 - ・大洞のヤマザクラ、水車小屋脇のソメイヨシノ、ダンノハナのヤマツツジなどの古木や名木を地域のシンボルとして、所有者と協力して適切な維持管理に努める。
 - ・古墓や祠などと周囲に植栽された樹木の一体的な維持管理に努める。
- 郷土芸能・行事・習慣の継承および活用
 - ・山口の集落や各家庭に昔から伝わる郷土芸能、伝統行事、生活習慣を、家族や世代を越え、地域ぐるみで継承していく。
 - ・薄れつつある伝統行事や生活習慣を見直し、発展させ、地域活性化のために活用する。
- 『遠野物語』の原風景の継承
 - ・先人たちから受け継いできた山口のながめにまつわる物語を次世代に語り伝える。
 - ・『遠野物語』の原風景である「山口集落のながめ」を維持するため、ながめを定期的に点検するとともに、ガイドラインの普及・啓発活動を行う。

山口集落の歴史・文化資源(一例)



水車とソメイヨシノ



大洞のヤマザクラ



古墓とツツジ



薬師堂参道のマツ

山口集落に伝わる主な郷土芸能・行事・習慣一例

山口さんさ踊り	山口集落に伝わる伝統芸能
小正月のミズキダンゴ	小正月(1月15日)に行われる豊作を祈願する行事
かまこたき	旧暦の3月3日の節句行事で、子どもが河原でカマドを作って料理をする
馬っこつなぎ	6月に行われる神送り行事
迎え盆・送り盆	お盆に行われる先祖供養
寒干し大根(づり)	冬期間に大根をゆでて、ほしてづる

※上記の中には、山口集落の一部の家庭・世代でしか継承されていないものを含む